



宮原良治司教認可  
発行所 福岡司教区本部  
福岡市中央区浄水通 6-28  
発行 人  
カトリック福岡司教区 三  
編集人 森山信三  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡司教区  
定価 一部60円

6月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう  
【一般】感謝の祭儀に現存するキリスト  
【宣教】ヨーロッパのキリスト者  
【日本の教会】日本の教会で働く司祭の  
聖化のために祈る

山浦玄嗣氏を迎えて広報委員会が特別講演会  
心に響け ～よきたより～

5月6日(日)、カテドラル大名町教会において福岡教区広報委員会主催の特別講演会が行われた。5月13日の「世界広報の日」にちなむことではあったが、各地から、また宗派を超えて300人以上の参加があり、山浦玄嗣氏(仙台教区大船渡教会所属)のユーモアと力強い語り掛けに笑いあり、涙ありの2時間はまさに心に響くものであった。



「心に響けよきたより」というテーマの講演会には日曜日であつたこともあり、主日のミサから引き続きて来られた福岡、熊本や北九州などからの信徒の姿が見られた。受付が始まると市内の聖公会やバプテスタの教会などからの参加者の姿もあつた。

2012年度第1回司祭評議会開催

5月8日(火) 司教館にて、司祭評議会が開催された。各地区からの報告の後、司教は、今年に日本二十六聖人殉教地は教区レベルから全日本レベルの殉教地に引き上げられ、「日本二十六聖人長崎への道」ネットワークの準備が始まっていることが報告された。

また来年4月に長崎コレジオが、現在の幼きイエス会修道院(浄水通)に移転し、長崎教会管区福岡コレジオとして、スタートし、高見大司教を代表として、九州の5教

世界広報の日を受けて

「私は道、真理、命である。」この言葉を「俺は、人を本當の幸せに導く。俺は、人が本當に幸せになる方方を教える。俺は人を幸せに生き生き生かす。」俺には人を立ち上げさせる力がある。生き生きと人を生かす力がある。この俺の言う事を本気で受けとめ、その身も心も委ねる者は、たとえ死んでも生きるのだ。」と訳した山浦氏は、講演をつうじて、イエスが発したメッセージは、当時の人々だけに向けられたものではなく、現代の私たちにもまた普遍的であると語った。

山浦氏が医療者として多忙を極めるなかで、独学でギリシア語を学んだのは「福音書の本當のメッセージを同郷の人々に響く言葉で伝えたい」という熱意からだつた。原語に忠実にあたりつつ、「届く言葉」にこだわった翻訳は心の奥にストンと落ちる説得力

久留米の聖マリア病院での受診となるため、研修会は久留米で開催するが、個人や施設等で受診している司祭もいるので受診は任意で行うこととなつた。

次に教皇大使の公式訪問について、大使をお招きして司祭や信徒との対話の機会を設ける、教区内の殉教地を訪問していただく等の意見があつたが、お招きする期間や場所などを再検討していくことになつた。

次に天草・崎津教会と周辺地区の世界遺産登録について、登録の判断を崎津小教区

今福岡に派遣されたのは生まれ育った長崎県上五島の仲知を離れて、7度目の引越しです。何度も回数を重ねれば慣れてくるものだと思つておりまして、これが、こればかりはそう簡単にはいかないようです。長くなればなるほど、年を重ねると尚更、人との別れはもろもろ、住み慣れた場所を離れることに戸惑いを感じるものです。ところが7度目に

**時の話題**  
Sr. 真浦直美

して、新鮮な思いを致しました。大楠教会に入り、祈座台から十字架を見上げると、「懐かしい！」という思いで一杯になつたのです。その後、これまでお世話になつた教会が次々に思い出され、最終的には、なぜか幼い自分が部屋の片隅に立つて、イエス・キリストのご絵を見上げている場面に及びました。何か不思議な思いと同時に、初めての教会、しかも十字架を見上げて心から懐かしいと思え、心が温かくなるという体験。何と幸せなことだろうと。教会の中で、キリストを見上げ、懐かしい家を感じ、そして家族の温かさを感じられる喜び。

神を信じる者にしか、到底理解できないお恵みなのだろうと思ひます。

5月、マリア様の月に母の日を祝い母の愛を感じました。6月、イエスの聖心の月には、父の日を祝い御父の愛を感じます。それぞれ家族、小教区共同体、全教会、修道共同体、被災地及び被災された方々、全世界の人々の上にキリストの愛が注がれ、人々の心に、平和と喜び、癒しの恵みが充ち溢れますように。キリストの愛の象徴、十字架を眺めながら、祈りをささげています。

イエスのカリタス修道女会

日本二十六聖人殉教者列聖150年について

6月8日は、日本カトリック教会にとつて大きな意味を持つ。

1862年6月8日、教皇ピオ9世(福者)は、バチカンにおいて、日本26聖人(正式には「パウロ三木と同志殉教者」)を列聖された。

それは「幕末の日本が開国するにあたり、ローマが日本の教会の再興を願つて」(前高松教区長 溝部脩司教)のことだつた。今年はその列聖から150年の節目の年を迎える。

日本カトリック司教団は、長崎信徒発見(1865年3月17日)から今日までを振り返り、今年を日本の教会の再スタートと位置づけ、日本の全教会が新しい福音宣教へ向かうべく意識を新たにすることを願つている。

まず、列聖150周年記念事業として、列聖記念日の6日、河原町教会(京都)で午後3時から、バチカン教皇駐日大使による記念ミサ。さらに9日には岡山教会(広島)で午前11時半から記

念ミサ、10日には浦上教会(長崎)で午後2時から記念ミサが捧げられる。また、日本26聖人が殉教した長崎の西坂殉教公園を長崎教区の巡礼所から「日本カトリック長崎西坂巡礼所」として指定し、日本の教会の巡礼所として指定する。記念ミサが捧げられる10日には、西坂の殉教の丘に巡礼所銘板を設置する。さらに日本カトリック司教団は、今年「日本26聖人長崎への道」ネットワーク(事務所は長崎巡礼センター)を立ち上げ

ウィリアム・アクイン・カルー大司教帰天



から1997年の間、駐日教皇大使を務めた。福岡教区では86年のカテドラル献堂式を司式され、「教区の信者は神の教会の建物の部分たれ」という激励の言葉を残された。

また翌87年の教区公式訪問中に故平田三郎司教の司教叙階25周年記念ミサに臨席、さらに91年の故松永久次郎司教の着座式を司式され、福岡教区にも度々足を運ばれた。引退後は、母国に戻り、静養しておられた。



今年の広報の日の講演会は医師の山浦玄嗣先生にお越しいただいた。エネルギーでユーモア溢れるお話しに満場の会衆も一心に聴き入つた。先生が25年ほど前にお書きになつた「父さんの宝物」という書物がある方からお借りした。「タカラモノ」はケン語では自分の子ども、よその子どもを問わず、子どものことをこのように呼ぶのだという。山浦さんは8人のお子さんをお育てになつた。本の中で、カトリックの信仰、教会をいつも第一に考え、その価値観をしっかりと子どもに伝える父が描かれている。信仰に関しては一歩も譲らない父、頑固者、一徹者の父が描かれている。信仰は強制するものではない、だから子どもが自分の意志で選ばせればよい、そんなことを最近よく聞く。確かに自分で選びつつていく信仰はより強固なものとなる。しかし、親が自分が大切だと考えているものを伝承しなくては、いつか誰か神を知り、教えを知り、福音に触れるだろうか。むしろ十分に伝え、与えた後に子どもは選べる。山浦さんは、毎晩子どもたちに聖書の話を聞かせておられたそう。標準語ではなく、ケン語でたくさん語られたのであろう。子どもたちが興味を持つて聴き、み言葉が心の中に入っていくためにはどのようにすればよいか、読み聞かせを通して学んでおられた。この子どもたちは何と幸せなことか。今回の福音書翻訳の完成もこの25年前、家庭からすでに始まつていたと言えるのかもしれない。



### 広報委員会の特別講演会に参加して

#### 読み飛ばしていい みことば...



山浦氏の講演は、一部であるがユーチューブで聞くことができる。著作も多く、「アマゾン」などで探して取り寄せて読んでみると、「言葉」の意味が深められる。単に「わかりやすい」ということではない。言葉の本来の意味が浮き出てくる。その浮き出てきた空気にとつぷりと浸かったような気になり、言葉が腹に落ちてくる。

首を長くして待っていた山浦玄嗣氏の講演会。大震災後すぐに「お水くぐりの」ケセン語訳新約聖書を求めて以来、いつか直接に話しを聞きたいと思っていた。最新作の「ガリラヤのイエシュ」は今や座右の書となっている。新共同訳や他の翻訳に慣れてしまっている自分に気づく。肝心の言葉を軽く読み過ぎている。たとえば「福音、愛（する）、祈り、み旨、罪、教会など。わかつたつもりでいたが、そのような大切な言葉を深く考えないで、わかつたつもりで読み飛ばしていったような気がする。そのように感じさせる講演であった。

著者に触れたり、講演の映像を見ていたが、実際に講演を聞くと、山浦氏の信仰が伝わってくる。信仰に生きるとは、生きていく信仰とは、そしてその信仰を伝えるとは、こういうことなのか、と深く感動を覚えた。

司祭として自分の信仰を振り返ってみた。ここまで「確信」を持って福音を伝えていくのかと自省するとともに、今までよりも真剣に意識して「言葉」に触れてみると、今まで気づけなかった多くのことに気づかされる。

### 典礼シリーズ ③

【質問】  
「イエスさまは『皆これを取って食べなさい、飲みなさい』と言っておられるのに、どうして司祭だけがぶどう酒（御血）を飲んで、信徒には飲ませないのですか。」

【質問に答えて】  
歴史を紐解いてみると、この質問と類似したテーマが、かつてトレント公会議（1562年）において、すでに取り上げられていること

あるということにも気づかされた。もっとも多くの人に講演を聞いてもらいたいし、山浦氏の翻訳に触れてもらいたいと思つた。

### 臣下は主君を愛するとは 言わない



長い年月、私たちが聖書

「はじめに言葉があつた」と聞かされてきました。

言葉によつて成つたということ。聖書の言葉の一つひとつは、祈りの言葉とあわせて無意識のうちに感じていく神様と対峙する手段でもあり、納得、やすらぎ、平和の手段でもあつたと思つていいます。しかし、本当の言葉の意味は文法とか辞書では理解できないのではないかと、どこかに間違いがあるのではないかと、との問いかけで講演は始まり、聴者に驚きと感動と新鮮さを与えてくれました。

山浦玄嗣先生のお話は、80年近く生きていく自分は何だつたのかとさえ、考えさせられる。そのときの公文書の中に、次のような説明がみられます。「秘跡を受ける人の利益、または秘跡の尊敬のために」と判断した場合、時と場所によつて、秘跡を受ける方法を定め、また、それを変更する権利を教会は常に持つていた。：古代の教会では両形による聖体拝領が慣習であつたが、時代の遷ととも、正当で重大な理由のために、この慣習も大きく変わり、一つの形色だけに

「古代の教会では両形による聖体拝領が慣習であつた」という言葉は、目上の者が目下の者を愛すると言つたが、臣下の者は主君を愛するとは言わず「慕う」と言う。従つて人間が神様を「愛する」というのはおかしいのではないかと、むしろキリスト教時代の「大事にする、大切にすること」と訳した方が本来の意味に近い。信仰、祈り、神さまの息、永遠の生命これらの言葉が持つている日本人としてのアイデンティティーをもとにした解釈は、どれもこれも新鮮な息吹をいただいたと思つています。先生の訳書「ガリラヤのイエシュ」の一部から使徒たちの会話や行動をケセン語風に話しをされたこと、私たちが心の奥に潜む魂を呼び起こさせてくれたことも特記すべきことでした。東日本大震災発生時の状況については、医者としての立場で様々な体験と現状をお話になり、復興への長い時間と人と人の絆が大切であること、日本人が生来持つてい「やさしさ」についても触れていただき、どんな場合でも人は役割を与えられていると力説され、感動の一日でした。

鳥栖教会信徒 日高賢二

「すべてのキリスト者の間の一致再建を促進すること」は、聖なる第2バチカン公会議の主な目的の一つである（エキュメニズムに関する教令第1項）と述べて公会議はすべてのキリスト教諸派との対話を促した。

一方、キリスト教以外の諸宗教に対しても「カトリック教会は、諸宗教の中に見出される真実で尊いものを何も排斥しない。諸宗教の信奉者との話し合いと協力を通して、かれらのもとに見出される精神的、道徳的富を呼び起こさせてくれたこと、私たちが心の奥に潜む魂を呼び起こさせてくれたこと、東日本大震災発生時の状況については、医者としての立場で様々な体験と現状をお話になり、復興への長い時間と人と人の絆が大切であること、日本人が生来持つてい「やさしさ」についても触れていただき、どんな場合でも人は役割を与えられていると力説され、感動の一日でした。

### 朝教会全国連合 福岡で全国大会を開催



「朝教会」第51回全国大会がカテドラル大名町教会を主な会場として5月18・19・20日に開催され、県内外から265人の参加があつた。

これを受けて、キリスト教諸派との対話協力、さらにキリスト教以外の諸宗教との対話協力が推進されることになったのである。

### 福岡教区諸宗教委員会から

福岡教区では、エキュメニズム担当司祭にミッシェル神父が計画されている。

父（箱崎教会）と井手公平神父（門司教会）が任命されている。

また、諸宗教部門は、フランコ神父（真命山）を中心にすすめられていた熊本地域諸宗教対話研究会が、このほど教区が関わる活動となり新たな段階を迎えることになった。それに伴い、牧山美好神父（崎津・大江教会主任）、アルビン神父（老司教会）が加わり、体制が強化された。

礼拝・祈禱につづいて、第1日目は「福岡とキリスト教」のテーマで九大名誉教授坂井信生氏の講演。2日目は、長崎26聖人記念館の館長テ・ルカ・レンゾ神父の「殉教者が示した一致の証し」と題して講演が行われた。午後は、今村教会、西南大学のドジャー博物館、大宰府見学などが企画された。

3日目、早朝8時から九州キリスト教会館の礼拝堂での礼拝の後、散会した。

来年は、仙台での52回大会が予定されている。

「古代の教会では両形による聖体拝領が慣習であつた」という言葉は、目上の者が目下の者を愛すると言つたが、臣下の者は主君を愛するとは言わず「慕う」と言う。従つて人間が神様を「愛する」というのはおかしいのではないかと、むしろキリスト教時代の「大事にする、大切にすること」と訳した方が本来の意味に近い。信仰、祈り、神さまの息、永遠の生命これらの言葉が持つている日本人としてのアイデンティティーをもとにした解釈は、どれもこれも新鮮な息吹をいただいたと思つています。先生の訳書「ガリラヤのイエシュ」の一部から使徒たちの会話や行動をケセン語風に話しをされたこと、私たちが心の奥に潜む魂を呼び起こさせてくれたことも特記すべきことでした。東日本大震災発生時の状況については、医者としての立場で様々な体験と現状をお話になり、復興への長い時間と人と人の絆が大切であること、日本人が生来持つてい「やさしさ」についても触れていただき、どんな場合でも人は役割を与えられていると力説され、感動の一日でした。

「古代の教会では両形による聖体拝領が慣習であつた」という言葉は、目上の者が目下の者を愛すると言つたが、臣下の者は主君を愛するとは言わず「慕う」と言う。従つて人間が神様を「愛する」というのはおかしいのではないかと、むしろキリスト教時代の「大事にする、大切にすること」と訳した方が本来の意味に近い。信仰、祈り、神さまの息、永遠の生命これらの言葉が持つている日本人としてのアイデンティティーをもとにした解釈は、どれもこれも新鮮な息吹をいただいたと思つています。先生の訳書「ガリラヤのイエシュ」の一部から使徒たちの会話や行動をケセン語風に話しをされたこと、私たちが心の奥に潜む魂を呼び起こさせてくれたことも特記すべきことでした。東日本大震災発生時の状況については、医者としての立場で様々な体験と現状をお話になり、復興への長い時間と人と人の絆が大切であること、日本人が生来持つてい「やさしさ」についても触れていただき、どんな場合でも人は役割を与えられていると力説され、感動の一日でした。

「古代の教会では両形による聖体拝領が慣習であつた」という言葉は、目上の者が目下の者を愛すると言つたが、臣下の者は主君を愛するとは言わず「慕う」と言う。従つて人間が神様を「愛する」というのはおかしいのではないかと、むしろキリスト教時代の「大事にする、大切にすること」と訳した方が本来の意味に近い。信仰、祈り、神さまの息、永遠の生命これらの言葉が持つている日本人としてのアイデンティティーをもとにした解釈は、どれもこれも新鮮な息吹をいただいたと思つています。先生の訳書「ガリラヤのイエシュ」の一部から使徒たちの会話や行動をケセン語風に話しをされたこと、私たちが心の奥に潜む魂を呼び起こさせてくれたことも特記すべきことでした。東日本大震災発生時の状況については、医者としての立場で様々な体験と現状をお話になり、復興への長い時間と人と人の絆が大切であること、日本人が生来持つてい「やさしさ」についても触れていただき、どんな場合でも人は役割を与えられていると力説され、感動の一日でした。

「古代の教会では両形による聖体拝領が慣習であつた」という言葉は、目上の者が目下の者を愛すると言つたが、臣下の者は主君を愛するとは言わず「慕う」と言う。従つて人間が神様を「愛する」というのはおかしいのではないかと、むしろキリスト教時代の「大事にする、大切にすること」と訳した方が本来の意味に近い。信仰、祈り、神さまの息、永遠の生命これらの言葉が持つている日本人としてのアイデンティティーをもとにした解釈は、どれもこれも新鮮な息吹をいただいたと思つています。先生の訳書「ガリラヤのイエシュ」の一部から使徒たちの会話や行動をケセン語風に話しをされたこと、私たちが心の奥に潜む魂を呼び起こさせてくれたことも特記すべきことでした。東日本大震災発生時の状況については、医者としての立場で様々な体験と現状をお話になり、復興への長い時間と人と人の絆が大切であること、日本人が生来持つてい「やさしさ」についても触れていただき、どんな場合でも人は役割を与えられていると力説され、感動の一日でした。

「現代の教会の立場」：現代の教会は、トレント公会議が下した判断と、秘跡の受ける方法の慣習を維持しながら、同時に聖体の秘跡がパンとぶ

「現代の教会の立場」：現代の教会は、トレント公会議が下した判断と、秘跡の受ける方法の慣習を維持しながら、同時に聖体の秘跡がパンとぶ

「現代の教会の立場」：現代の教会は、トレント公会議が下した判断と、秘跡の受ける方法の慣習を維持しながら、同時に聖体の秘跡がパンとぶ

### ちゅっぺー



\*待ち合わせの本屋二人で読みふけり  
\*虹に音符置くと素敵な音出そう

坂牧春妙  
深堀正平

### 奉獻生活者のための黙想会 ①

【指導】 来住英俊神父  
【日程】 7月22日(日)夕食～29日(日)朝食  
【テーマ】 山上の説教を聴く(マタイ5章～7章)  
★費用 7万円(講師謝礼含む) ★前泊については、ご相談ください。



カトリック御受難修道会・福岡黙想の家  
811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 (9:30～16:30)・Fax 0940-32-3385  
E-メール fmokuso@mvi.biglove.ne.jp  
インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

### ミサ用ワイン



デ ミサ  
VINO DE MISA  
スイートタイプ(赤)(白)  
ご用命 お問い合わせは  
有限会社 **大楠酒店**  
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号  
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

### 草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀  
互助会制度もご利用できます。  
**木下株式会社**

TEL 092-526-5656  
〒810-0016  
福岡市中央区平和3丁目1-5



### 日力連と福岡地区婦人会が総会と講演会 内田美智子さんの話に振り返る子育て



家庭の現実に向き合う」を深める研修会・黙想会の実施「いのちを守る運動」の推進、被災地支援活動等を行っていく事が了承されました。

午後からの日力連総会には全国から110余人の会員が集まり活発な質疑応答の中、基本テーマ「家庭・召命・いのち」のもと2012年の種々の活動が決定しました。

5月16日(水)、17日(木)大名町教会に於いて、第38回日本カトリック女性団体連盟(日力連)福岡総会、および第29回福岡地区婦人会総会が開催されました。16日、午前中は福岡地区婦人会の総会が行われ、前年度の活動報告・会計報告と共に会の名称変更が承認されカトリック福岡教区福岡地区婦人会から「福岡地区カトリック女性の会」と呼ばれることになりました。



「親は子供より先に死んでいく」「いこのちをつなぐ」等など、たくさんの方の思いが共有されました。若い人も子育て中の人も子育てを終えた人も自分を振り返り、今を大事にしなければと思ったひと時でした。

### 福岡教区修道女連盟が役員改選など総会



ら、会員87人の参加者が会場を埋めた。福岡市内の会員有志によって整えられた温かいコーヒー・茶菓は、早朝から雨の中を駆けつけた遠来の会員を喜ばせ、既に、開会前には和やかな親睦の雰囲気の流れていた。

4月30日(月)、福岡教区修道女連盟では、恒例の総会がカテドラル大名町教会を会場に行われた。福岡・佐賀・熊本の三県か

総会に先立ち、宮原良治司教様よりご講話をいただいた。今秋開催されるシノドスについての情報、特に「新しい福音宣教」をめぐる方向性とその具体化の問題について概要が示された。シノドス参加後の、より具体的な指導に大きな期待を抱くことが出来た。

な活動について話し合いを進める事になりました。17日、「食卓からのいのちの輝きへ」をテーマに、内田美智子さん(助産師)を迎えお話を聞きました。スクリーンに映し出される助産師としての種々の体験からなる言葉・映像そして音楽を強く打ちました。

最後に総会においては、会計・活動の報告・計画などを規定に従って執り行った。続いて、新役員の紹介。▽会長 黒木紗耶子(シヨファイユの幼きイエズス修道会)▽副会長 Sr.平井篤子(マリアの宣教者フランシスコ修道会)▽会計 Sr.窪田ヨシ子(シャルトル聖パウロ修道女会)▽書記 Sr.三井萬里子(カノッサ修道女会)▽書記・監査 Sr.林優子(シヨファイユの幼きイエズス修道会)。

来、福音宣教の使命を、より忠実に生きるようにとの司教様の特別のご意向でミサを捧げていただき、心一つにして歩き続ける熱意を新たに燃え立たせる恵みをいただきました。最後に総会においては、会計・活動の報告・計画などを規定に従って執り行った。

指し、修正すべき課題を残しながらも、本年度の議案を無事終了した。会員の減少、高齢化、事業所の縮小・移管など、痛みを背負いながらも、現実に向き合って、固有のカルスマを生きようと歩み続けている私たちが、「連盟」というより大きな共同体を通して、祈り助け合う心を実感できたのではないだろうか。この機会を利用して、司教様・神父様を囲み、自由な対話のひとときを設けることが出来ればいいのではないかとこの声も聞こえそうである。

なお、昨年より、東日本大震災被災者支援の一環として実施している「シスターズ・リレー」(直接のボランティアのほか、毎月11日には、

5月21日(月)金環日食日のこの日、大分市の球場を借りて、第5回西日本司祭団交流ソフトボール大会が行われた。グラウンドには広島・高松教区連合チーム、大分教区チーム、福岡教区チーム、そして長崎教区チームが参集し、当地の浜口末男司教の始めの挨拶と祈りによって試合

が開始された。福岡教区チーム(福岡カリエス)は午前と午後の2試合に臨んだ。1試合目は広島・高松連合チームと戦い、24対1で快勝したが、長崎教区選抜チームと戦った2試合目は8対20で敗れてしまった。小雨の中、両試合とも白熱した展開をみせた。優勝を飾ったのは2試合を制した長崎教区選抜チームで、司教杯を手にした明るい表情が印象的であった。

共同体的な祈り・犠牲などを捧げる)を今年度も継続することを確認した。最後に、本連盟の担当川健一神父様(吉塚教会主任)の紹介と挨拶があった。次に、福岡教区に新しく迎えた「長崎純心聖母会」のシスターズの紹介と挨拶があった。新しい大江修道院(天草市)の院長はSr.山田和子。続いて、今年度新しく福岡教区に転入したシスターズの紹介が続いた。

宮原司教様と古川神父様の「シスターズの存在そのものが、福音宣教につながる」との力強い励ましのお言葉に勇気付けられ、積極的な福音宣教への新たな意欲を燃やしながら一日を終えることが出来た。神に感謝!

### 雨の中でも燃える心で 西日本司祭団交流ソフトボール大会



遠くから参加された会員の皆様が課題も含め、何かを持って帰られた事と信じます。福岡教区福岡地区カトリック女性の会 代表 角田茂子

### 教区召命委員会 年間予定

- ◆1 召命祈願ミサ
  - ① 7月11日 午後7時
  - ② 10月10日 午後7時
  - ③ 12月12日 午後7時
  - ④ 2月6日 午後7時
- ◆2 徹夜祈禱会
  - \* 6月9日(土) 19時より
  - 10日(日) 午前7時の感謝の御ミサにて終了。
- ◆3 共に祈る会定期集会所
  - ① 5月24日 午後14時30分
  - ② 8月16日 14時30分
  - ③ 9月20日 14時30分
  - ④ 10月18日 14時30分
  - ⑤ 11月15日 巡礼予定
  - ⑥ 12月20日 14時30分
  - ⑦ 1月17日 14時30分
  - ⑧ 2月21日 14時30分
  - ⑨ 3月21日 14時30分
- ◆4 共に祈る会黙想会
  - \* 7月9日(月)
  - 13時30分受付開始、翌10日(火) 昼食後終了
- \* 指導司祭 山口尚志神父 (新田原教会)
- ◆5 召命を志す青年の為の黙想会(男性限定) 予定
  - \* 9月1日(土)
  - 13時30分受付開始、翌2日(日) 昼食後終了

なんでもお問い合わせください

**ジャパン・スマイルか**

代官事務所 マルゴウ・マリア 吉田由美子  
〒910-8044 福井県中央地区大野町4丁目8番4号  
TEL 092-781-8800  
http://www.jp-smile.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313  
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- ・一般住宅(新築・改築工事)
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号  
☎ (092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い

**セント・ポール**  
FUKUOKA

キリスト教書局・信心用具・ビデオ・DVD・CD  
福岡市中央区大倉2丁目大名町カトリック教会1F  
平日/AM10時~PM5時40分  
日・祝日/AM11時~PM4時(祝日定休日)  
TEL 092-2741888 FAX 092-2741861  
URL http://www.pax-inc.co.jp



救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書講座 ④

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い 『マルコ福音書を読む』
日時：7月15日(日) 14:00
テーマ：障害と壊れた橋(8章22節～13章37節)
講師：今田昌樹神父(笹丘教会助任司祭・聖アウグスチノ会)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒協同協議会 聖書典部会

2012年北九州地区聖書講座 ③

年間テーマ：ともに学び、生活の場で伝えよう ～マルコに導かれて～
日時：6月17日(日) 14:00～16:30
テーマ：マルコ福音書におけるイエスの癒し
講師：今田昌樹神父(笹丘教会助任・聖アウグスチノ会)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒協 聖書部会

聖書に集う会～福音書って何？

日時：2012年6月4日(月) 19時～20時30分
場所：サンパウロ福岡宣教センター3階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)
対象：19歳以上 どなたでも/参加費：200円
持参品：新約聖書(出版社不問)/申込：不要
次回：7月2日(月)
連絡先：092・721・2032(平日10:00～18:00)

第10回福岡ユースカトリックキャンプ

FYCC 10 家族
日時：8月3日(金) 14:00受付 8月5日(日) 12:30解散
テーマ：『家族』
場所：神学院福岡キャンパス
対象：中学生/高校生(先着60人)
参加費：4500円(宿泊費・食費)
スタッフ：司祭・シスター・青年
主催：福岡地区青年会
問合せ先：092-741-3687 大塚神父
Email:fycc10.together@gmail.com

東北震災のためのいのりのリレー

日時：6月11日(月) 6:30ミサ～19:00夕の祈り(テゼ)
場所：カトリック中町教会聖堂(長崎市中町1)
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp /Br 阿部光一
\*いのりのリレーの案内やチラシをPDFで送ることができます。

ローマ・ルルド・ヌベール・パリ聖地巡礼

全工程添乗員。
同行司祭：Fr. 青木悟・Fr. 下町豊重・Fr. 竹内英次
(飛行機) 福岡空港発着
(宿泊地) ローマ2泊、ルルド2泊、ヌベール1泊、パリ3泊(3～4星ホテル利用予定)
【巡礼地抜粋】 ローマではバチカンや主要巡礼地、ルルド、ヌベール、モンサンミッシェル、パリミッション会訪問など
【旅行期間】 7月25日(水)～8月3日(金) 8泊10日
【旅行代金】 お一人あたり 398,000円
【旅行企画】 (株) 阪急交通社 福岡団体支店
\*資料請求等：092・761・8833

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第7回

日時：2012年6月24日(日) 16時～18時
場所：大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：開会(祈りと種々の報告)
第二部：養成(教えと分かち合い)
講師：森山信三神父(西新教会)
第三部：活動協議

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

編集後記
編集後記を書いていく今日(22日)は、東京スカイツリーが開業した日でした。大震災から一周年が過ぎ、何となくこれでいいのだろうかという思いが、素直に世界一の電波塔の完成を喜べない気がしています。しかし、被災者にも希望を与えるものになれば、それは喜ばしいことなのかもしれません。ところで、バベルの塔は「有名になるため、天まで届く塔のある町を建てた」とあります。その結果、神は人々の言葉を混乱させられました。スカイツリーは、高層ビルが林立する東京で、より確実に電波を送るために建てられたそうです。バベルの塔では、建設の結果、人々の言葉が混乱して、意思の疎通が出来なくなりました。人々の心と心をつなぐ手段にはメディアを用いる私たちが、人間の問題だと思えます。

みこころの月

案内板

会合と催し

6月のこよみ

福岡黙想の家のご案内 6月

4日(月)～6日(水) 休館
7日(木) 門教会婦人部 巡礼
9日(土)～10日(日) 聖マリア在俗会 黙想会
13日(水)～15日(金) イエズス会四校合同研修会
16日(土) 福岡チェナクルム
20日(水) ミカエル会
23日(土) 北九州クリスチャンの集い
7月1日(日)～6日(金) 聖霊刷新 司祭黙想会
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
・日時：6月14日(木) 10時～14時半
・内容：キリストによって、キリストとともに、キリストの内に
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョルジュ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次回：7月12日(木) 御聖体に生かされて生きる
☎0968・85・3100 0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：6月16日、7月7日、7月21日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

3日(日) 三位一体の主日/↑V. マテオ [2002年黙想の家]
7日(木) 常任司教委員会・神学院常任委員会
↑P. ダイヤモンド [2006年崎津教会]
9日(土) バチカン大使出迎(博多駅)
福岡地区召命徹夜祈禱会ミサ(カテドラル)
キリストの聖体/聖体行列(島崎教会)
26聖人殉教者・列聖150周年記念行事(長崎)
(宗法) 幼稚園園長会合
司教顧問会議/事務局会議
福岡教区カトリック中学中堅教職員研修(海星学園)
イエズスのみこころ
年間第11主日
鳥栖教会ミサ/鳥栖カトリック幼稚園保護者講話
九州カトリック学校・理事長・校長研修会
定例司教総会(～23日)
洗礼者聖ヨハネの誕生/聖ペトロ使徒座への献金日
西新教会聖信式
教区内全司祭研修会(～28日)
聖ペトロ・聖パウロ
↑ラファエル鶴野泰年 [2011年若松教会]
2013年度大神学院入学願書締切日
聖パウロ会福岡修道院特別記念ミサ
7月
1日(日) 年間第13主日
福者ペトロ岐部司祭と187殉教者記念日
3日(火) 聖トマ使徒
4日(水) 諸宗教部門会議
5日(木) 常任司教委員会
6日(金) 初金ミサ聖祭 サーリスの集い
8日(日) 年間第14主日/高宮教会聖信式
唐津教会バザー
■ゴチックは司教日程

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時から(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・みことばの分かち合い(問合せ先) ☎092・821・6349
◆在世フランススコ会集い(日時) 6月17日(日) 14時から16時(場所) 高宮フランススコ会修道院在会会集会所(指導) エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先) ☎092・843・5831岩崎
◆第3回教会学校関係者の集い(日時) 6月17日(日) 14時～17時(場所) カテドラル大名町教会4階(内容) 教会学校の諸問題と展望・一致に向けて(講師) 松井忠之神父(主催) 福岡地区信徒協 召命・信仰育成部(締切り日) 6月11日(問合せ先) 090・6468・6844目良豊
◆カレル在世会(日時) 6月18日(月) 10時半(場所) 福岡女子カレル会修道院聖堂・テレサの家(内容) ミサ・講話(創立史(大聖テレジア著)(指導) カレル会司祭(問合せ先) ☎097・551・1360中林
◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 6月19日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(福岡市南区塩原)(内容) 講習会/講師 || Sr平戸京(シヨファイユの幼きイエズス修道会)(問合せ先) ☎096・380・5686堺敬子
◆テレシア友の会読書会(日時) 7月7日(土) 13時半(場所) 福岡女子カレル会テレサの家(内容) 幼いイエスの聖テレザ自叙伝(問合せ先) ☎092・807・7361(カレル会)

◆聖ヨアキム&聖アンナ会(日時) 7月26日(木) 13時より(場所) カトリック笹丘教会聖堂(内容) ロザリオ・ミサ・聖体礼拝・賛美/この日は聖ヨアキム聖アンナの祝日にあたり、条件を満たすことで全免償を受けられます(問合せ先) 090・9568・0076 野川
◆美野島司牧センター(日時) ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎火曜日10時30分
◆ホームレス支援夜回り第1金曜日20時(路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時(問合せ先) ☎092・431・1419コース神父
◆北九州召命を共に祈る会(日時) 6月14日(木) 14時(場所) カトリック小倉教会(内容) Sr竹内

◆熊本(日時) 6月21日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825青木悟神父
◆カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時) 7月8日(日) 14時(場所) 聖心病院(問合せ先) ☎096・352・7181
◆佐賀祈りの集い(日時) 6月9日(土) 10時(場所) 毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎095・2・30・8347 吉武\*
◆熊本(日時) 6月21日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825青木悟神父
◆カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時) 7月8日(日) 14時(場所) 聖心病院(問合せ先) ☎096・352・7181

◆熊本(日時) 6月21日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825青木悟神父
◆カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時) 7月8日(日) 14時(場所) 聖心病院(問合せ先) ☎096・352・7181
◆佐賀祈りの集い(日時) 6月9日(土) 10時(場所) 毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎095・2・30・8347 吉武\*
◆熊本(日時) 6月21日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825青木悟神父
◆カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時) 7月8日(日) 14時(場所) 聖心病院(問合せ先) ☎096・352・7181

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合産科医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
救急救急センター
〒830 8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942 35 3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

殉教の聖地 五島列島巡礼ツアー
添乗員が同行 詳しいパンフレットを郵送します
【集合】2日・3日間は佐世保港9:40、5日間は長崎港7:15
◆10教会2日間【出発】5月3、7月14日【旅行代金】28,000円
◆20教会3日間【出発】5月3、7月14日【旅行代金】48,000円
◆全54ヶ所5日間【出発】5月20日【旅行代金】85,000円
【旅行企画・実施】株式会社 長崎ツーリスト公社
◆095-894-9755 FAX 095-894-9760
長崎市音無町12-12-304 全国旅行業協会会員
長崎県知事登録第2-144号 総合旅行業務取扱管理者 吉村 徳明

Veni Sancte Spiritus
あなたの息を送ってください
すべてが新たになるように
6月の休業日 3、10、17、24、28、30
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分\*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930